

次年度・ロータリー財団資金推進委員長 田後隆二

### ロータリー財団寄付に関する地区目標

ご寄付は自発的に行っていただくもので、強制されるべきものではないことが大前提ですが…、2020-21 年度地区目標はハンドブック 4 ページに記載のとおり、

- 年次基金寄付 200 ドル以上/1 名
- ポリオプラス寄付 40 ドル以上/1 名
- 恒久基金寄付 1,000 ドル以上/1 クラブ

を掲げております。

次年度目標も同様ですが、

- ロータリー財団寄付：年次基金 200 ドル/会員
- ロータリー財団寄付：各クラブベネファクター：1 名以上
- ロータリー財団寄付ゼロクラブ：ゼロとする
- ポリオプラス寄付：40 ドル/会員

とのことです。

ベネファクターについては、ハンドブック 14 ページに記載があります。例年の「恒久基金寄付 1,000 ドル以上/1 クラブ」とほぼ同旨です。ご協力よろしく願いいたします。

### ロータリー財団に関する用語等の知識

ロータリー財団を理解するには、用語の知識が必須です。まず、寄付の種類です。ハンドブック 5 ページをご覧ください。

#### 【年次基金寄付】

3 年間運用し、運用益は、ロータリー財団の管理運営費に充てられます。

元金は、地区補助金・グローバル補助金などとして活用されます。

#### 【恒久基金寄付】

元金は使用しません。

1 年間の運用益のみが、地区補助金・グローバル補助金などとして活用されます。

恒久基金は、意識されていないクラブが多いようです。

クラブごとの過去 3 年分の財団寄付額一覧がハンドブック 29 ページにありますので、参考にさせていただければと思います。

#### 【使途指定寄付】

ポリオプラスなどの用途を指定した寄付です。

ポリオプラスについては、ハンドブック 19 ページに記載があります。

プラスとは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核を指します。

残るはパキスタン、アフガニスタンの 2 か国だけですが、当該国の症例数は、なかなか減少していかない状況にあります。

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

		2021 年 ~3/23	2020 年	2019 年	2018 年
常在国	パキスタン	1	84	147	12
	アフガニスタン	1	56	29	21
世界合計		2	140	176	33

ご寄付をいただくには、現金や振込みだけでなく、ロータリーカードを利用することもできます。ハンドブック 12 ページをご覧ください。個人用、法人用、クラブ用もあります。カードの利用金額の 0.3%が自動的にポリオ撲滅などの目的で寄付されます。

次に、シェアシステムについてお話しします。ハンドブック 6 ページをご覧ください。6 ページは、シェアシステムを理解しやすくした架空の金額です。実際の地区財団活動資金の収支はハンドブック 28 ページに記載があります。皆様からのご寄付がどのように活用されているのか、何に役立てられているのかについてご説明します。

シェアシステムについてお話しする前に、ハンドブック 7 ページをご覧ください。活動資金、補助金の種類と決定機関の名称を整理したいと思います。

TRF : The Rotary Foundation (ロータリー財団)

DDF : District Designated Fund (地区財団活動資金)

WF : World Fund (国際財団活動資金)

DG : District Grants (地区補助金)

GG : Global Grants (グローバル補助金)

それでは、ハンドブック 6 ページに戻ります。

実施年度からみて 3 年前の年次寄付額と恒久基金の 1 年間の運用益を合算し、その 50%が DDF として地区に配分され、残り 50%は WF として TRF が管理・活用します。ただし、2024-25 年度からは 47.5%ずつとなります。

DDF は、さらに DG、GG に配分され、GG には DDF の前年度繰越金に加算されます。DDF・DG (DDF のうちの DG) は、クラブ奉仕プロジェクト、地区奨学金などに使用されます。

クラブ奉仕プロジェクトへの DG は、クラブの皆さんにとって、一番関心のあるところだろうと思います。クラブ奉仕プロジェクトにかかる DG の概要は、ハンドブック 8 ページにあります。

DDF・GG (DDF のうちの GG) は、使途がハンドブック 7 ページにある 6 つの重点分野の一つ以上に該当することが必須で、GG プロジェクト、VTT、GG 奨学金、平和センター、ポリオプラスなどに使用されます。なお、次年度から「環境の保全」という新たな重点分野が追加され、重点分野は 7 つになります。

GG プロジェクトは、重点分野に該当する大規模・中規模プロジェクトです。ハードルは高いですが、最近のプロジェクト一覧がハンドブック 37, 38 ページにありますので、参考にしてください。

以上、当地区における寄付金活用事例を紹介しましたが、TRF 全体の収支は、ハンドブック 30 ページ記載のとおりです。ハンドブック 19 ページにあるビル & メリンダ・ゲイツ財団からの倍額寄付を含め約半額が、ポリオプラスに費やされています。

## 寄付と認証

次に認証についてご紹介します。ハンドブック 13-18 ページをご覧ください。ロータリー財団では、個人やクラブからのご寄付に対して感謝の気持ちを表すために、さまざまな認証プログラムをご用意しています。

まず、個人からのご寄付に対する認証。ハンドブック 13, 14 ページです。

### 【「財団の友」会員】

年次基金に毎年 100 ドル以上寄付する方

### 【ベネファクター】

恒久基金に 1,000 ドル以上寄付した方

### 【ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー】

年次基金、ポリオプラス、グローバル補助金プロジェクトに累計 1,000 ドル以上でポール・ハリス・フェローとして認証され、さらにプラス 1,000 ドル

ごとに+1 から+8（累計 9,000 ドル）まで、マルチプル・ポール・ハリス・フェローとして認証されます。

【ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)】

毎年合計 1,000 ドル以上を、年次基金、ポリオプラス基金、グローバル補助金プロジェクトに寄付する方

【遺贈友の会】

恒久基金に 10,000 万ドル以上の寄付を誓約した方

【メジャードナー】

寄付の分類に関係なく、累積寄付の合計が 10,000 ドルに達した方

当地区では 93 名（2020 年 7 月末現在）の方が、メジャードナーです。メジャードナー候補者（7,000 ドル以上、10,000 ドル未満）は 59 名（2020 年 7 月末現在）いらっしゃいます。

【アーチ・クランフ・ソサエティ (AKS)】

寄付の分類に関係なく、累積寄付の合計が 250,000 ドルに達した方

当地区では 3 名（2020 年 7 月末現在）いらっしゃいます。

【レガシー・ソサエティ】

恒久基金に 1,000,000 ドル以上の寄付を誓約された方

以上、財団認証ポイントについての詳細は、ハンドブック 17,18 ページをご参照ください。

次に、クラブからのご寄付に対する認証。ハンドブック 15,16 ページです。

【Every Rotarian, Every Year クラブ】

1 年度中に正会員全員が、年次基金へ少なくとも 25 ドルの寄付をし、1 人当たりの年次基金平均寄付額が 100 ドルに達しているクラブ

【100%ロータリー財団寄付クラブ】

1 年度中に正会員全員が、寄付分類に関わらず少なくとも 25 ドルの寄付をし、1 人当たりの平均寄付額が 100 ドル以上に達しているクラブ

【100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ】

正会員全員がポール・ハリス・フェローとなったクラブ（1 度限り）

【100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ】

1 年度中に正会員全員が、年次基金、ポリオプラス基金、グローバル補助金プロジェクトのいずれかに合計 1,000 ドル以上寄付したクラブ

【年次基金への 1 人あたりの寄付額上位 3 クラブ】

各地区で 1 人あたりの年次基金への平均寄付額が上位 3 位（少なくとも 50 ドル以上）のクラブ

冠名基金、冠名指定寄付も用意されています。ハンドブック 11 ページに一部記載があります。寄付者または特定の方のお名前のついた冠名基金または冠名指定寄付としてご寄付いただくことも可能です。

RI : Rotary International (国際ロータリー) 会長によるロータリー賞には、財団寄付に関する項目もあります。ハンドブック 15, 16 ページです。

【ロータリー財団功労表彰状】

ロータリー財団と関連した活動に積極的に取り組んだロータリアンを称える賞です。

【ロータリー財団特別功労賞】

ロータリー財団において模範的な奉仕を実践したロータリアンに与えられる財団最高の賞です。ロータリアンは、功労表彰状を受賞後、少なくとも丸4年が経過してから、財団特別功労賞の候補者となる資格を得ます。

【ロータリー財団地区奉仕賞】

財団プログラムを通じて優れた奉仕活動を実践したロータリアンを表彰するものです。

最後に、クラブの財団委員会の役割については、ハンドブック 4, 5 ページに記載のとおりです。財団寄付の意義・重要性について、会員の皆様にご理解いただき、自発的なご寄付を促していただきますよう、よろしくお願いいたします。